

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)EXC千葉新町計画 新築工事	階数	地上11F
建設地	千葉県千葉市中央区新町17番17	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年9月22日
敷地面積	519 m ²	作成者	新日本建設㈱一級建築士事務所 宇津見 聡
建築面積	285 m ²	確認日	2023年9月22日
延床面積	2,402 m ²	確認者	新日本建設㈱一級建築士事務所 宇津見 聡

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	・歩行者目線(グランドライン) 「賑わい」・「安心・安全感」・「緑地」 ・街並み目線(スカイライン) 「空」「街並み」「海」 ・公共交通機関(モノレール・道路目線) 「グランドラインとスカイラインの中間に存在するモノレールの動き」の3方を兼ね備えた計画	その他 0
Q1 室内環境	専有部分について、断熱等性能等級4を超える性能としている。また、遮音性の高いサッシを採用し、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、階高にゆとりを持たせた設計としている。また、空調・給排水配管の更新対策にも配慮するなど、建物のサービス性能の向上に努めている。
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4を超える性能、BEI=0.73としている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地やノンフロンの断熱材を採用している。
		Q3 室外環境(敷地内) 特になし
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率73%とし、光害抑制にも配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される